

監修

石川 ふみよ (上智大学総合人間科学部看護学科教授)
高谷 真由美 (順天堂大学医療看護学部教授)

執筆(五十音順)

厚美 彰子 (順天堂大学医療看護学部助教)	住吉 由巳子 (順天堂大学医学部附属浦安病院慢性疾患看護専門看護師・糖尿病看護認定看護師)
阿部 由香 (前日本保健医療大学保健医療学部看護学科准教授)	瀬尾 昌枝 (順天堂大学医療看護学部助教)
石川 ふみよ (前掲)	高桑 優子 (順天堂大学保健看護学部准教授)
市原 真穂 (千葉科学大学看護学部教授/小児看護専門看護師)	高谷 真由美 (前掲)
伊藤 正恵 (心身障害児総合医療療育センター小児看護専門看護師)	田村 南海子 (上智大学総合人間科学部看護学科助教)
鵜澤 久美子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)	富樫 恵美子 (千葉県立保健医療大学健康科学部講師)
漆戸 由紀子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)	中島 淑恵 (東京慈恵会医科大学医学部看護学科准教授)
大隈 直子 (独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)九州病院副看護師長)	長富 美恵子 (順天堂大学医学部附属静岡病院感染症看護専門看護師)
岡本 隆寛 (順天堂大学医療看護学部准教授)	中富 利香 (東邦大学医学部新生児学講座博士研究員)
荻津 佳奈江 (順天堂大学医学部附属順天堂医院がん看護専門看護師)	西川 瑞希 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)
尾崎 道江 (つくば国際大学医療保健学部看護学科教授)	西村 あをい (東京情報大学看護学部教授)
河西 恵美 (順天堂大学医療看護学部助教/慢性疾患看護専門看護師)	林 幸子 (獨協医科大学看護学部講師)
加藤 かほり (東京都リハビリテーション病院慢性疾患看護専門看護師)	樋野 恵子 (順天堂大学医療看護学部准教授)
金子 多喜子 (杏林大学保健学部看護学科准教授)	古屋 千晶 (順天堂大学医療看護学部助教)
熊倉 深里 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)	水谷 鄭美 (神奈川工科大学健康医療科学部看護学科講師)
小崎 綾子 (順天堂大学医学部附属浦安病院慢性疾患看護専門看護師)	水野 芳子 (東京情報大学看護学部講師)
酒井 礼子 (独立行政法人地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校副校長補佐)	峯川 美弥子 (東京女子医科大学看護学部助教)
佐藤 典子 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター老人看護専門看護師/認知症看護認定看護師)	宮澤 初美 (順天堂大学医学部附属静岡病院慢性疾患看護専門看護師)
島途 漠 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)	安井 大輔 (東海大学医学部看護学科講師)
島村 純子 (独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)東京新宿メディカルセンター副看護部長)	山本 佳代子 (横浜創英大学看護学部看護学科教授)
下西 麻美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)	渡邊 知映 (昭和大学保健医療学部看護学科教授)

編集担当 : 増田和也, 秋元一喜
表紙・カバーデザイン : 柴田真弘
DTP : 萩原夏弥, 真興社
イラスト : 日本グラフィックス

本書の特長と使い方

- 本書では、臨地実習や臨床現場でよく出会う疾患を 75 疾患に厳選してそれぞれ解説しています。
 - さらに本書では看護学生や看護職の皆様により活用していただきやすいよう、看護過程を展開していく上で基礎知識となる医学的情報を最新のものとし、図表やイラストでできる限り見やすく、わかりやすく構成しています。
 - 1つの疾患は、すべて共通して下記の流れに沿って解説されています。

●1つの疾患は、すべて共通して下記の流れに沿って解説されています。

1. 疾患の基礎的知識
 2. 看護過程の展開 アセスメント～ゴードンの機能的健康パターンを用いて
 3. 全体像の把握から看護問題を抽出
 - 1) 病態関連図
 - 2) 看護の方向性
 - 3) 患者・家族の目標
 4. しばしば取り上げられる看護問題
 5. 看護計画の立案

1. 疾患の基礎的知識

この項目では、 1) 疾患の概念、 2) 原因、 3) 病態と臨床症状、 4) 検査・診断、 5) 治療、 6) 予後、 といった点を解説しています。その疾患に関する医学的な情報です。看護を考えるうえでのベースとなる知識といえます。

01 肺がん

1. 疾患の基礎的知識

1) 疾患の概念
肺がんとは、気管、気管支および肺胞に発生する悪性腫瘍の総称である。そのなかには、気管支から肺胞の間で、原発性肺がんには上皮性の悪性腫瘍と、非上皮性の悪性腫瘍(肉腫)がある。

1

2) 原因

筋肉の危険因子としては煙草などの生活習慣、アスベストなどの職業歴、筋膜炎などがある。また、近年、がんは筋肉の構成比と結びておらず、ときに筋肉のがんではなく非発生部位に発生する多くの多発がんは、上皮成長因子受容体 (EGFR) の過剰なgrowth factor lymphoma kinase)、ROS1 (cros oncogene1) など)の遺伝子異常が発見されている。そして、長期の筋肉萎缩は70歳以上で発症し、高齢者に多いことから、長期運動をかけて、筋肉がんに導く是れを受けることで発症する多発筋肉がんも想われる。

receptor). 不活性化ハミング

3) 病態と臨床症状

病態

がんの病理組織分類は2017年の「[腋窩駆出被膜]」の改訂によって、4大癌型として、腺がん、扁平上皮がん、神経内分泌腫瘍、大腸がんとなり、小細胞がんは神経内分泌腫瘍の型に含まれる。組織型のなかでは、small cell lung cancer」と、小細胞がん(SCLC: small cell lung cancer)に分かれることが多い。

がんの発生部位によって中野型(扁平型)、末梢型(肺野型)に分けられ、組織型と好発部位に特徴がある(表1-1)。

表1-1. [表1-1]

表01-1 肺がんの組織分類		特徴
種類	発生部位	
腺がん	・肺がんのなかで最も多い	
非小細胞癌	・腺がん、大細胞癌、鱗状細胞癌	

次いで多い・進行が遅く、発覚時にはリンパ節やほかの臓器に転移していることが多い

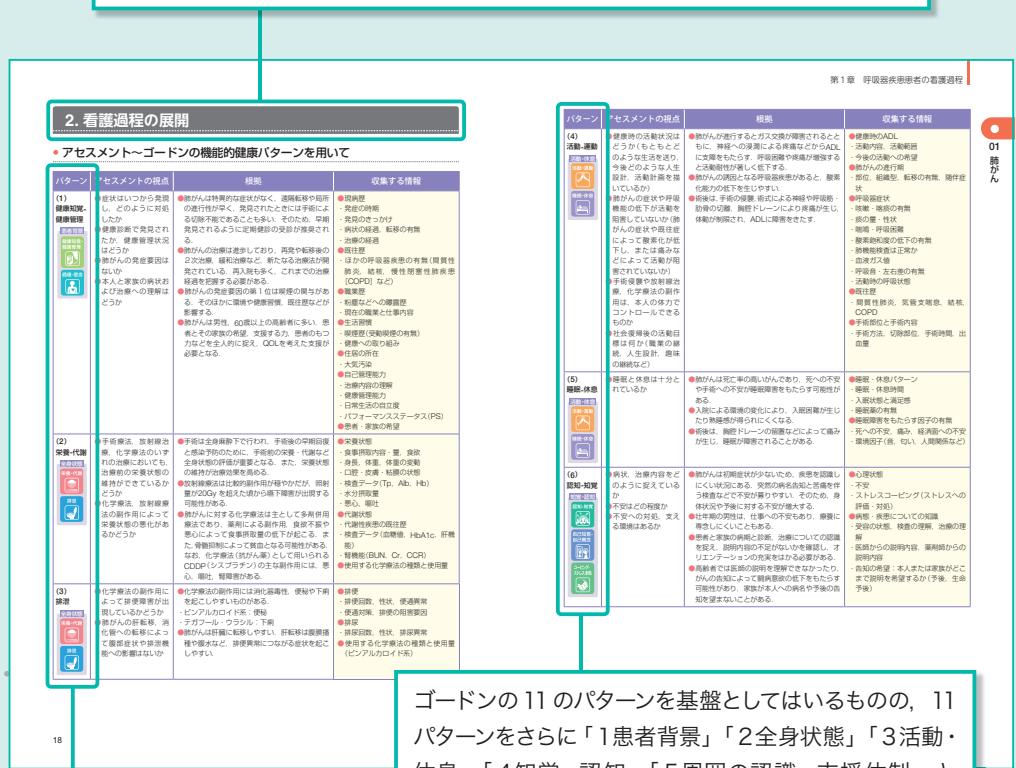
第1章 呼吸器疾患患者の看護過程

● 01 肺がん

日本臨床学会・肺疾・癌部・臨癌取扱い規約第8版、「TNM肺癌分類(=TNM)」、-2-4、全般部類、2012

2. 看護過程の展開 アセスメント～ゴードンの機能的健康パターンを用いて

「ゴードンの機能的健康パターン」を基盤として、アセスメントを解説しています。対象者（患者やその家族）のどこに注目して情報を収集すればよいのか、なぜその情報が必要なのか（根拠）、実際に収集すべき情報内容、といった点を表形式でまとめました。

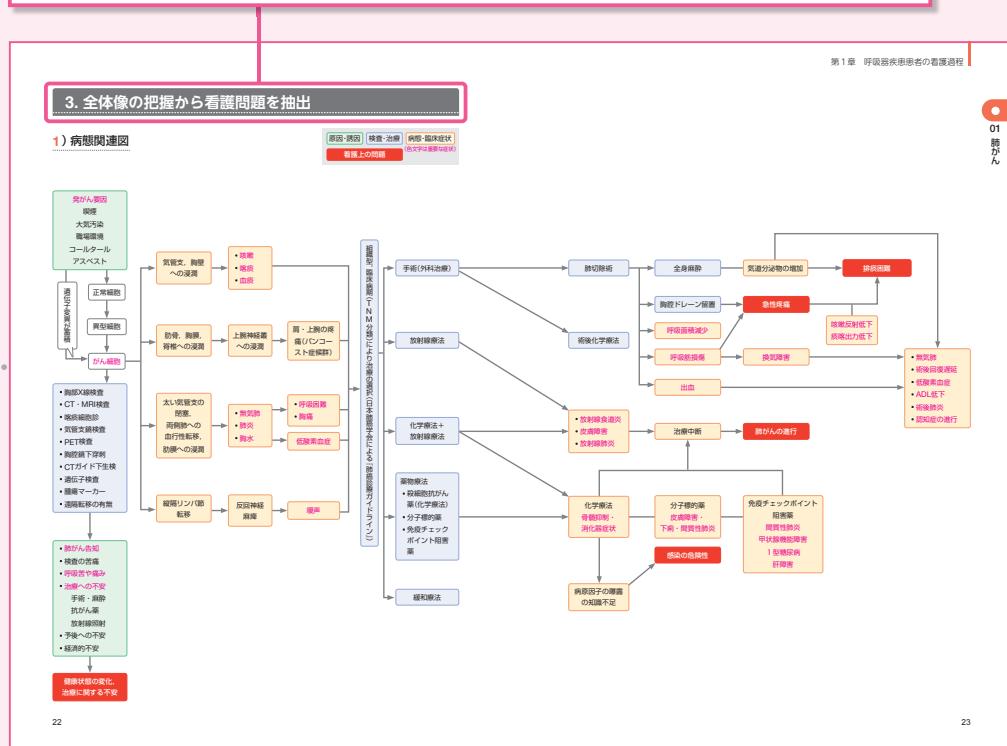


ゴードンの11のパターンを基盤としてはいるものの、11パターンをさらに「1患者背景」「2全身状態」「3活動・休息」「4知覚・認知」「5周囲の認識・支援体制」という5つの大きな枠組みも示しているので、ゴードン以外のさまざまなアセスメントの枠組みや理論にも応用・対応させることができます。



3. 全体像の把握から看護問題を抽出

この項目では、 1) 病態関連図、 2) 看護の方向性、 3) 患者・家族の目標、 という流れで解説しています。ここで病態関連図によってあらためて全体像を俯瞰するとともに、「1. 疾患の基礎的知識」と「2. 看護過程の展開 アセスメント」で学んだ内容をもとにして、実際に看護をする際の考え方(方向性)や、今後の目標の例を見いただします。



- 本書では、各疾患について、具体的な事例（特定の患者像）を設定して解説しているわけではありません。広く一般的で汎用性のある看護過程の解説書です。
 - これから本書で看護過程を学ぶ皆さんには、本書を読み、解説されている内容を参考にさせていただき、ぜひ、自分の目の前にいる対象者（患者やその家族）へのアセスメントや看護問題の抽出、看護計画立案、そして看護実践にお役立てていただけたらと思います。本書が、看護過程への理解を促し、自律的な視点を育むための一助になれば幸いです。

第1章**呼吸器疾患患者の看護過程**

01 肺がん	012
02 肺炎	031
03 気管支喘息(患児)	049
04 気管支拡張症	067
05 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	083

第2章**循環器疾患患者の看護過程**

06 心筋梗塞(狭心症)	100
07 心不全	121
08 心室中隔欠損症(患児)	138
09 大動脈解離	155
10 高血圧	170
11 心臓弁膜症	181

第3章**血液・造血器疾患患者の看護過程**

12 急性リンパ性白血病(患児)	198
13 悪性リンパ腫	214
14 多発性骨髄腫	232
15 再生不良性貧血	249
16 川崎病(患児)	262

第4章**消化器疾患患者の看護過程**

17 胃がん	276
18 胃・十二指腸潰瘍	290
19 潰瘍性大腸炎	311
20 クローン病	329
21 食道がん	344

22	肝がん	364
23	肝炎	377
24	肝硬変	394
25	胆石症	409
26	脾がん	422
27	大腸がん	435
28	イレウス・腸閉塞	450
29	腸重積症	462

第5章

内分泌・代謝疾患患者の看護過程

30	1型糖尿病	478
31	2型糖尿病	498
32	甲状腺機能亢進症(バセドウ病)	516

第6章

脳・神経疾患患者の看護過程

33	くも膜下出血	526
34	脳梗塞	537
35	脳出血	552
36	脳腫瘍	563
37	重症筋無力症	577
38	多発性硬化症	591
39	パーキンソン病	605
40	筋萎縮性側索硬化症	620
41	てんかん	636
42	認知症	652

第7章

運動器疾患患者の看護過程

43	脊髄損傷	671
44	腰椎椎間板ヘルニア	689
45	変形性関節症	703
46	先天性股関節脱臼(発育性股関節形成不全)	717
47	大腿骨頸部骨折	731

第8章

腎・泌尿器疾患患者の看護過程

48	慢性腎臓病	747
49	急性糸球体腎炎	765
50	ネフローゼ症候群	778
51	尿路結石症	789
52	膀胱がん	805
53	前立腺がん	821

第9章

女性生殖器・婦人科疾患患者の看護過程

54	子宮がん	844
55	子宮筋腫	864
56	乳がん	877
57	卵巣がん	891

第10章

自己免疫疾患患者の看護過程

58	関節リウマチ	913
59	多発性筋炎・皮膚筋炎	929
60	全身性エリテマトーデス	943

第11章

感染症患者の看護過程

- | | | |
|----|---------|-----|
| 61 | 肺結核 | 957 |
| 62 | MRSA感染症 | 972 |
| 63 | HIV感染症 | 987 |

第12章

皮膚疾患患者の看護過程

- | | | |
|----|----------|------|
| 64 | 熱傷 | 1002 |
| 65 | アトピー性皮膚炎 | 1018 |

第13章

眼疾患患者の看護過程

- | | | |
|----|------|------|
| 66 | 白内障 | 1033 |
| 67 | 緑内障 | 1046 |
| 68 | 網膜剥離 | 1059 |

第14章

耳鼻・咽喉疾患患者の看護過程

- | | | |
|----|------|------|
| 69 | 喉頭がん | 1070 |
| 70 | 舌がん | 1084 |

第15章

精神・神経疾患患者の看護過程

- | | | |
|----|-------------|------|
| 71 | 神経症性障害 | 1106 |
| 72 | 双極性障害(躁うつ病) | 1118 |
| 73 | 統合失調症 | 1131 |
| 74 | アルコール依存症 | 1148 |
| 75 | 神経性無食欲症／過食症 | 1166 |

- | | |
|-------|------|
| INDEX | 1182 |
|-------|------|